

札幌も少子高齢・人口減少社会へ 小野正美は、責任ある政治をめざします



人を大事にする、これが私の原点です


札幌市医師会理事から市民の心と健康を守る、万全の医療体制で医療関係者への支援。
 * 学校給食の無償化
 * 子ども医療費助成の引上げ等
 * こども・子育て支援
 * 地域・高齢者の生活を確保するため、デパート・商業施設の推進
 * 災害可能な大雪にも対応できる持続可能な除排雪体制
 * 物価高騰対策、中小企業や商店街の安定経営・活性化支援
 * 東京五輪・五輪後の徹底究明と再発防止策、徹底した徹底究明

小野正美のプロフィール
 * 1949年(昭24)北見市留辺町選根生まれ
 * 72年 北海道教育大学札幌分校卒業
 * 95年 札幌市議会議員に初当選・7期連続当選

私たちが応援しています
 池田まき 秋元克広
 札幌市医師会議員は、多くの団体等から推薦を受けています

【プロフィール】昭和62年生まれ、手稲区小、手稲中、立命館大学、立命館大学産業社会学部(少年野球-札幌シニア-高校野球部で主将、大学硬式野球部)、北海道銀行などを経て、現在(社)福寿園事務局長兼手稲除排雪区副区長。

私を手稲区内の保育園副園長と社会福祉法人の事務長として、地域の子どもや高齢者、障がいのある方が安心して暮らせる環境整備してきました。私の経験と知見を活かし、誰もが笑顔と希望にあふれた手稲・札幌の未来を築くため、「全力投球」で取り組み覚悟です。皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。



さっぽろ・手稲の可能性を切り拓く わだ勝也の重点政策

子どもがぐくぐく成長し、高齢者が生き生きしたまちに!

- 子育て支援・教育環境の整備・充実
- 医療・介護・福祉の強化

暮らしやすい手稲の基盤強化


- 大雪でも日常生活に支障が出ないよう除排雪体制の強化
- 公共交通機関など「市民の足」の充実と道路網の整備で利便性の向上

地域資源の活用で札幌を活性化

- 手稲積積公園の施設整備によりスポーツイベント空間の創出
- 前田森林公園や手稲山などの魅力向上で「札幌のシンボル」に

【プロフィール】昭和62年生まれ、手稲区小、手稲中、立命館大学、立命館大学産業社会学部(少年野球-札幌シニア-高校野球部で主将、大学硬式野球部)、北海道銀行などを経て、現在(社)福寿園事務局長兼手稲除排雪区副区長。

“人を大事にする”市政を貫きます。




子ども医療費と小中学校給食費無料に！ 敬老優待乗車証をスマホで使用可能に！

安心して暮らせる街へ 防災・医療・福祉最優先
 災害時の対応に、交通網の確保、保健所の体制強化と医療・福祉への支援を強化します。
冬の生活を守る街へ 大雪・除排雪体制の再構築へ
 季節の移り変わり、交通網の確保、保健所の体制強化と医療・福祉への支援を強化します。
女性が輝く街へ さらに活躍する環境づくりへ
 女性の能力を伸ばし、職場や地域・家庭で活躍する環境づくりを行います。
住みやすい街へ 町内会への助成拡充へ
 高齢化社会において活動の維持と活性化のため将来にわたり、持続可能な町内会へ助成を拡充していきます。
買物難民を出させない街へ 地域活性化に新スーパーを

福士勝 プロフィール
 * 1948年、ニセコ町生まれ、旧留辺町、北海道大学経済学部卒業。
 * 1987年から札幌市議会議員(選挙区選出)を経て、現職。除排雪区長を兼ねて、札幌市議会議員、北海道議会議員、北海道議会議員を兼ねる。
 * 2019年9月11日-札幌、次期、次期。
 * 2022年立憲民主党に入党し、北海道代表として活動を開始、現在に至る。

地下鉄を手稲区へ!!




生まれ育った手稲のために

まつい隆文 プロフィール
 昭和50年生まれ。富丘つくし幼稚園、手稲中央小、手稲中、札幌北高校、北海道大学法学部卒業。7年間の行政書士業務を経て、平成27年札幌市議会議員に初当選。2期目、現在、札幌市議会自民党議員、副政務会長、手稲駅前地区で商業施設(キネビルの)運営にあたり、手稲本町商店街振興組合理事も務める。

- ① 市民負担の軽減(全世代の手取り収入額を増やす)
- ② 交通ネットワークの再構築(地下鉄東西線の延伸)
- ③ 親切で公平な行政サービス(デジタルの不便解消)
- ④ 札幌市民の負担なき新財源の確保(外資・観光税)
- ⑤ 政務活動費制度を含めた議会費の見直し
- ⑥ 除排雪の徹底、町内会の負担軽減等の生活基盤整備
- ⑦ 都心(中央区)に偏重しない、各区事業への予算増

市民政党政党の公約




市民の市民による 市民のためのまちづくり!!

3大重点
1 [2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック 冬季競技大会] 招致の是非について
 札幌冬季五輪の招致に反対し、自治体本条例第22条に基づく住民投票を実施し、民意を反映したうえで完全撤退します。
 東京五輪における観客や飲食などの汚染事件が拡大し、市民の反感が強まっているにもかかわらず、未だに冬季五輪の招致に賛成する数万人が札幌市議会には連署と賛成があります。
2 除排雪事業の今後の在り方について (民間丸投げ型から官民協働型へ)
 除排雪事業については、現在の民間丸投げ方式から徐々に官民協働方式に移行し、特に生活道路の除排雪は札幌市の責任で切り替え、小まめに排雪を行います。
 それにより町内会負担の伴う(オートサービス)排雪制度は原則禁止します。また、グレーダーなどの除雪機材の購入には国の交付金を受けられるため、民間買出しも含め、大量に揃えたいと思います。特に排雪用のタンクカーについては購入数を多くし、地域の排雪作業に力を入れます。
3 交通インフラ改善
 地下鉄東西線の延伸！
 手稲区でマンダ交通を含めた拡充
 (マンダ交通とは、予約に応じて運行する方式の交通システムです。従来のバスとは異なり、運行ダイヤや運行ルートは決まっておらず、予約があったときのみに、事前に設定した乗降ポイント間を運行します。)

【プロフィール】
 福寿園会津若松出身 49歳
 札幌秀友会病院勤務(業務部長)
 [現] 北海道科学大学卒

冬季五輪招致も新幹線有言残土搬入も中止



子育て・くらし・福祉優先の市政へ 5つの願いを実現へ

プロフィール
 * 1960年(昭35)札幌市生まれ、札幌市立南小学校卒業、札幌市立南中学校卒業、札幌市立南高等学校卒業、札幌大学経済学部卒業。
 * 1987年(昭62)札幌市議会議員に初当選。札幌市議会議員、札幌市議会議員を兼ねる。
 * 2019年9月11日-札幌、次期、次期。
 * 2022年立憲民主党に入党し、北海道代表として活動を開始、現在に至る。

- ① 医療生活・経営を支える
 いちのちを守る。介護・医療を抜本的に支えます。高齢者への補給品の購入助成、中小企業への直接支援を求めます。
 子育て負担133%のゼロ！
 子育て負担は高齢者(30歳以上)無料、学校給食費は無料、国民の子ども均等負担の負担ゼロ
- ② 除排雪の抜本的強化
 生活道路の排雪を市民負担10億円はくじで削減する目標です。
- ③ 地域を支える公共事業へ
 地域、福祉施設の耐震化、水通費を下げ、子育て支援、地元経済の底上げこそ、公平な調整で、地元経済の底上げこそ、市による自治体への市民の個人情報提供は中止を、LOGO高利貸や性暴力をなくします。
- ④ 議員活動の特約の廃止と、政務活動費の1割カットを求めます。
- ⑤ 子育て・くらし・福祉優先の市政へ

大軍拡・大増税NO 憲法生かした平和外交を

謙虚にまじめにすぐ動く!



札幌市議会で4期16年!寄せられた市民相談は4,000件以上!

公明党公認 福田 こうたろう

物価高から暮らしを守る
 札幌市プレミアム商品の発行で市民生活に地域経済を応援します。
 電気ガス・燃費等の負担軽減を継続し、必要に応じて機動的な対応を要望します。
 中小企業の生産性向上を、賃上げでできる環境づくりを支援します。
子育てに安心を
 児童手当の大幅な拡充を図ります。
 子ども医療費助成の拡大を推進し、高校生まで無償化を実現します。
 専業主婦家庭も定期的にご利用できる保育園制度の創設に尽力します。
 妊娠・出産育児見舞金に寄り添った相談支援と経済的支援の恒久化に取り組めます。
住みやすい街手稲を目指して
 手稲公園を中心とした多目的な入り口ゾーンづくりの推進します。
 高齢者にも優しい除排雪方法を導入します。
 都市型観光光景「ライオン」を推進します。
 進んで地域活性化を図ります。

デマンド交通の拡充
 でまんだ交通を拡充して、子育て・くらし・福祉優先の市政へ。
LED照明の設置
 や生活道路の修繕や改修を推進します。

福田こうたろうプロフィール
 1968年7月札幌生まれ 54歳
 1987年 北海道立札幌西高等学校卒
 1992年 創価大学法学部 卒
 1999年 株式会社北友 勤務
 2007年 札幌市議会議員 初当選
 現在在職
 公明党北海道本部 幹事兼代理
 札幌市議会公明党 幹事兼
 モーター(心臓を強く守る)

北海道知事・北海道議会議員 札幌市長・札幌市議会議員 選挙

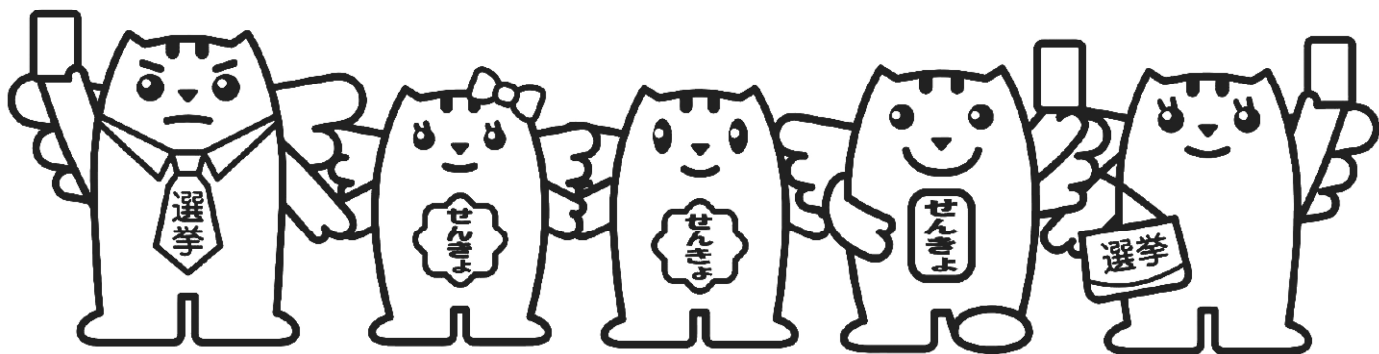
4.9 (日) 投票日

投票時間：午前7時～午後8時

期日前投票は4/8(土)まで実施中!

4/6(木)～4/8(土)は各区で期日前投票所を増設します。
場所及び時間は投票所案内はがき裏面をご確認ください。

わたしの選挙～人生は、選択の連続だ～



未来をつくる、大切な一票

忘れずに投票しましょう!

